

必ず読んでください

二種混合（ジフテリア・破傷風）予防接種についての説明書

1. 病気について

- ◇ジフテリアは、ジフテリア菌の飛沫感染でおこります。主に気道の分泌物によってうつり、喉などに感染して毒素を放出します。この毒素が心臓の筋肉や神経に作用することで、眼球や横隔膜（呼吸に必要な筋肉）などの麻痺、心不全等を来たして、重篤になる場合や亡くなってしまう場合があります。
- ◇破傷風は、土の中にいる破傷風菌が、傷口からヒトの体内に入ることによって感染します。かかった場合に亡くなる割合が非常に高い病気です。口が開き難い、顎が疲れるといった症状に始まり、歩行や排尿・排便の障害などを経て、最後には全身の筋肉が固くなって、体を弓のように反り返らせたり、息ができなくなったりし、亡くなることもあります。

2. ワクチンについて

このワクチンはジフテリアと破傷風の二種混合ワクチンです。
副反応としては、注射部位の発赤、腫脹、硬結などの局所反応が主で、7日目までに約31.1%認められます。なお、硬結は少しずつ小さくなりますが、数か月残ることがあります。特に敏感な子で肘を超えて上腕全体がはれた例が少数あります。通常高熱は出ませんが、接種後24時間以内に37.5℃以上になった子が約0.5%未満です。重い副反応はなくても、機嫌が悪くなったり、はれが目立つときなどは医師に相談してください。

3. 接種回数等

対象年齢：小学校6年生（11歳以上13歳未満）で1回接種
乳幼児期に受けた四種混合の2期としてジフテリア・破傷風二種混合を接種します。四種混合が3回以上接種していないと、十分な抗体が得られません。四種混合が0～2回の接種の場合は、任意接種として、必要回数受けることをお勧めします。

4. 以下のことに注意してください

- ① 予防接種の必要性や副反応についてよく理解しましょう。分からないことは接種を受ける前に質問しましょう。
- ② 接種に連れていく予定にしても、体調が悪と思ったら、やめましょう。
- ③ 子どもの日頃の状態を知っている保護者の方が連れていきましょう。また、卵などの食品や、薬などにアレルギーがないか日頃からよく注意をして見ておきましょう。
- ④ 予診票はお医者さんへの大切な情報です。責任を持って記入するようにしましょう。
- ⑤ 母子健康手帳は必ず持っていきましょう。母子健康手帳がないと接種できません。
- ⑥ 接種後は、30分間は接種場所で子どもさんの全身状態を観察しましょう。

5. ワクチンについて予防接種による健康被害救済制度について

定期接種によって引き起こされた副反応により、生活に支障が出るような障がいを残すなどの健康被害が生じた場合には、予防接種法に基づく給付を受けることができます。
給付申請の必要が生じた場合には、大田市健康増進課へご連絡ください。